

# 美ヶ原生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県上田市、小県郡長和町
面積	1074.62ha
設定年	平成29年4月1日変更
保護林の概要 (設定目的)	コメツガ、トウヒ、シラビソ、ウラジロモミ、ミズナラ、カエデ等から構成される亜高山帯の針広混交林を主体としており、これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林詳細調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを6箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。森林多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	ニホンジカによる剥皮被害や食害の影響が確認されている。特に、コメツガやシラビソ等の生育への影響が懸念される。 風害や雪害による倒木や幹折れが確認されるが、面的な被害は確認されていない。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 中央アルプス（駒ヶ岳）生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・南信森林管理署
所在地	長野県駒ヶ根市、上伊那郡飯島町、宮田村
面積	2294.59ha
設定年	平成5年4月1日設定、平成30年4月1日変更
保護林の概要 （設定目的）	中央アルプスの駒ヶ岳（2956m）を主峰として将棋頭山（2736m）から越百山（2613m）に至る稜線の東斜面一帯（駒ヶ岳風致探勝林を除く）における池ノ平カール、池ノ平モレーン等の氷河地形等の特異な地理を保護する。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	将棋頭山～越百山の高山帯に踏査ルートを設定し、森林の概況及び植物相等を把握する。
結果概要	<p>現地調査では、森林被害をもたらすような事象は確認されず、大きな変化は見られなかった。聞き取り調査で、南アルプスのニホンジカの侵入が懸念された。</p> <p>航空写真より高山帯谷部に崩壊地が多数確認されたが、地形・地質上形成されるのであり、大きな問題はないと考える。</p> <p>登山利用者による踏圧等の影響はなく、問題となる鳥獣害や気象害等もみられず、良好な高山帯の状態が維持されていることから、健全と判断される。ただし、ニホンジカの動向に関しては、今後のモニタリングにおいて注視していく必要がある。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。